

蒲焼きの香り長蛇の列

浜松中心街で
鰻ぶくまつり

特産ウナギをPR



注目を集めたうなぎのかば焼き実演＝浜松市中区のモール街で

浜松特産のウナギを

PRする「浜松うなぎ鰻ぶくまつり」が十三日、中区千歳町のモール街であり、関東風、関西風両方のうなぎ弁当が人気を集めた。来場者はうなぎの蒲焼きの香りに誘われるように、次々と列に加わっていった。

会場では、市内のうなぎ店などが協力して弁当を即売した。その場で手際よくさばいて調理する姿は、来場者の注目を浴びていた。まつり開始の三十分前から行列ができ、待ち

時間が一時間以上になることも。用意した七百食では足りず急ぎよ二百食追加したが、約三時間で完売した。

集めると抽選で旅行商品や食事券が当たるスタンプラリーもあり、家族四人で来た中区蛸塚の松浦浩規さん(三五)は「弁当の列に並んでいる間に、子どもがスタンプを集めた。共同作業です」と笑顔で話した。

まつりは先月の三十日を予定していたが、台風の影響で延期となっていた。

会場の一角では、館山寺温泉観光協会などがベゴニアを干鉢配って温泉街の宣伝をした。(木村春毅)